

11月に入り秋も深まってきましたね。朝夕はすっかり冷え込むようになってきたので、皆様お体には十分気をつけてお過ごしくださいませ(^_^)

さて、今回は県立播磨特別支援学校と小野市立河合小学校で実施された講演会の様子をお届けします♪

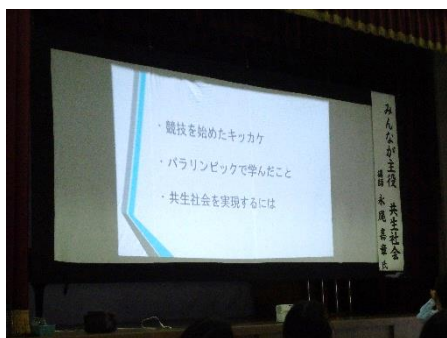
県立播磨特別支援学校は、卒業生でパラリンピック銅メダリストの永尾 嘉章さん、小野市立河合小学校は、通称“オリパラおじさん”こと小野市教育委員会 スポーツ振興課長 井上 雅規さんを講師としてお招きし、講演会が実施されました。

★10月16日(金) 県立播磨特別支援学校 『みんなが主役 共生社会』

講師としてお招きした卒業生の永尾さんが県立播磨特別支援学校に来校したのはなんと36年ぶり！！当時の学校生活を振り返りながら、これまでの活躍について「競技を始めたきっかけ」「パラリンピックから学んだこと」「共生社会を実現するには」の3つのテーマに沿ってお話いただきました。

県立播磨特別支援学校に在籍中、一人の先生の声かけで始まった永尾さんの35年の競技生活。その中で得た諦めない気持ちや、一生懸命に挑戦し続ける大切さを伝えられました。「障がいがあるから助けられて当たり前なのではない、何事も前向きに挑戦し続けている人ほど周囲から応援され、支えてもらえるからね。みんなも自分の好きなことを見つけて一生懸命諦めずに頑張ってもらいたい」と先輩としてメッセージを送られました。

また、“**一生懸命に取り組んでいたら、周りの目が変わる。認めてもらえる。**”一人ひとりがそう考えて行動することで、それが大きな波となって社会全体へつながっていくんだと、共生社会の実現に向けても心強い言葉を残されました。



★10月27日(火) 小野市立河合小学校 『オリンピック・パラリンピックってなんだろう?』

東京2020大会の法被を着て金色ハットをかぶり東京五輪音頭で元気よく登場した“オリンピックおじさん”。見るからに陽気な講師の方の登場で、開始すぐに会場が温かい空気に包まれました。

オリンピックが大好きな井上さんには、オリンピックとパラリンピックについて、起源や理念、価値など、それぞれがどういった大会なのかを映像視聴や実演を通して教えていただきました。

また、小野市とオリンピックの関わりのお話の中では、地元出身の選手や小野市で行われる聖火リレーの予定など、児童の皆様が身近にオリンピックを感じられるようなお話もされていました。

パラリンピッククイズや井上さんのオリンピックグッズ紹介では沢山の手が上がったり、笑い声があがったりと、会場全体が大盛り上がりとなり、観戦という形だけでなく色々な大会の楽しみ方を伝授してくれました。

最後には、これまで続いてきた歴史あるオリンピック・パラリンピック大会の理念や価値を、“**今を生きる私たちが未来に向けていかにするべきか**”と、問いかけて講演を締めくくられました。

